

新得山スキー場のゲレンデを整備 ほか



新得スキー連盟（植村高志会長）主催の新得山スキー場のゲレンデ整備が10月10日に行われ、新得シニアスキー同好会や狩勝寿事業団などの団体6人によって作業が行われました。

この日は、ジヤイアントコースとスカイラインコースに分かれ、コース内にはみ出している危険な枝などを取り除いていきました。

参加者は、事故が起きないように念入りに作業に臨んでいました。

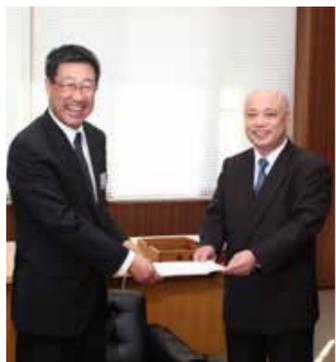
なお、新得山スキー場のオープン予定は12月23日となっています。



関東圏に住む新得町出身者で構成されている「東京ふるさと新得会（秋山憲一会長）の会員ら30名が帰郷し、10月23日、町公民館で歓迎式が開催されました。

歓迎式では会員らの知人の町民も駆けつけ、旧交を温めています。秋山会長から図書館の書籍購入用として、図書券が浜田正利町長に手渡されました。

一行はこの後、サホロリゾートに宿泊。翌日は若原農場を見学し、札幌方面に移動。翌々日には余市とキロロリゾートを回るなど、2泊3日の気ままな旅を楽しみました。



左藤支部長より開催決定書を受け取る浜田町長

（一社）全種協の佐藤正光北海道支部長、山本良明同支部事務局長らが10月22日、町長室を訪れ、「日本そば博覧会」の次年度開催地を新得町にすることを正式に決定しました。

開催予定期間は9月19日～25日で「そばと新得町の風景写真コンテスト」、「地元小学生によるそば栽培体験写真展示」などの展示イベントを行い、その内の24日～25日にかけて食イベントとして「新そば祭り」を併催事業で開催する予定となっています。

浜田正利町長は「決定していただいてありがたい。せっかくの機会なので、博覧会開催がいろいろの部分にも広がるよう最大限努力する」と話していました。

プランの詳細やご予約、お問い合わせはトムラウシ温泉東大雪荘（65・3021）まで。

※工事中の期間でも電話は繋がります。

無事故を願って作業 新得山スキー場のゲレンデを整備

ふるさとに帰郷 東京ふるさと新得会「第17回秋の気ままな旅」

来秋の「そば博覧会」 新得町での開催決定 来年9月19日～25日に開催し、新そば祭りも併催

12月1日にリニューアルオープン トムラウシ温泉東大雪荘が「源泉かけ流し」に

花壇コンクール表彰式、町地域医療講演会、フレンドリー08がひまわり荘を慰問、子育て講演会ほのぼのサロン



平成27年花壇コンクール（町花いっぱい運動推進委員会主催）の表彰式が10月6日、町公民館で開催され、優秀賞には、新得山スキー場の花壇を整備した狩勝寿事業団（杉本寛理事長）が選ばれました。

このコンクールは、毎年、町の環境美化、景観向上を目的に開催されています。

表彰には、入賞した11団体のうち、6団体が出席し、熊切隆委員が会長から表彰状が手渡されました。

優秀賞は狩勝寿事業 団 花壇コンクール表彰式



健康な食生活について説明する木村医師

町地域医療講演会「長寿のためには」（町、社会医療法人新得クリニック主催）が10月6日、新得クリニック循環器内科医師の木村孝さんを講師に招き、町公民館で開催され、町民約40人が動脈硬化や高血圧症などについて学びました。

豆、ゴマ、わかめ、野菜、魚といった、芋の頭文字をつなげた「まごはやさしい」をキーワードに動脈硬化を抑える食事を紹介し、高血圧症については、「野菜、魚を多く食べ、肉やお酒を控え、足腰を鍛える運動などが大切」と木村医師は語り、「この話を若い人にも伝えてほしい」と呼びかけました。

健康に過ごす秘訣を 解説 町地域医療講演会



大正琴を演奏する中里さん

道内、道外の老人福祉施設や病院で講演や演奏を行っている「フレンドリー08」代表の中里幸道さんが10月20日、養護老人ホームひまわり荘を訪れ、大正琴の演奏を行いました。

この日は、入所者ら約40人が集まり、「赤いスイートピー」や「ふるさと」などが披露され、入所者の中には、手拍子をしたり、口ずさんだりする人もおり、演奏にノリノリの様子でした。

10月18日には、新得やすらぎ荘19日には、屈足わかぢ園でも演奏が行われました。

清らかな音色に聞き 入る フレンドリー08がひまわり 荘を慰問



出産の仕組について説明する高田さん

平成27年度子育て支援事業、子育て支援講演会が「家庭で伝えるいのちの話し生まれてきてくれてありがとう」を演題に10月27日、子どもセンターなかよしで行われ、13人のお母さんが参加しました。

講師として、誕生学アドバイザーの高田めぐみさんを招き、いのちの大事さ、いのちの始まり、子どもの成長過程、出産の仕組みなどを学びました。

お母さんたちは、自分の経験を思い出しながらウンウンと頷いて話を聞いていました。

「生まれてきてうれしかった子どもにも伝えてほしい。お母さんから伝えてもらうことによって、子どもが命を大事だと思う土台となる」と高田さんは訴えていました。

生まれてきたうれし さを伝えてほしい 平成27年度子育て支援事業 子育て支援講演会